

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 28日

札幌市長 様

提出者

住 所 北海道帯広市東7条南8丁目2番地

氏 名 萩原建設工業株式会社

代表取締役社長 萩原 一利

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0155-24-3030

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	萩原建設工業株式会社
事業場の所在地	北海道帯広市東7条南8丁目2番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合建設業
② 事業の規模	売上高12,517,871,869円(2023年5月末)、 資本金 80,000,000円
③ 従業員数	181名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	・全量委託・収集運搬(がれき類、ガラス・コンクリート及び陶磁器くず、 廃プラスチック類、建設汚泥、木くず、紙くず、繊維くず、金属くず、 石綿含有産業廃棄物等) →中間処理及び最終処分

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 統括管理者 → 札幌支店長 処理統括責任者 → 札幌支店土木部長・札幌支店建築部長 処理責任者 → 各現場代理人			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	1754.114 t	t
	(これまでに実施した取組) ・例年の取組みを継続して実施する。処理計画に則り、排出抑制と再生利用の促進に努める ・電子マニフェストの利用割合を高める		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出量	999 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状の取組みを継続して実施する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別を実施している ・汚泥（廃生コンクリート）は、マニフェストを発行し生コン車で運搬する。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状の取組みを継続して実施する ・確実に分別できるように廃棄物を明記して分別する		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・同地区に優良認定処理業者があれば、積極的に利用している		

(第5面)

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 同地区に優良認定処理業者があれば、積極的に利用したい		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請け完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模がわかるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項														
①現状	【前年度(令和5年度)実績】													
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	その他のがれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチックくず	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石こうボード	建設汚泥	混合(安定型)	混合(管理型)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	産業廃棄物の種類	その他(伐根、ボサ)	石綿(がれき)	石綿(ガラス)	石綿(廃プラ)	石綿(その他)	特管産廃(廃石綿)	その他(廃タイヤ)	その他(廃油)	その他(蛍光管)	その他(廃生コン)	その他(廃電池)	ダンボール	鋳さい
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	(これまで実施した取組)	・特に実施していない												
②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	その他のがれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチックくず	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石こうボード	建設汚泥	混合(安定型)	混合(管理型)
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	産業廃棄物の種類	その他(伐根、ボサ)	石綿(がれき)	石綿(ガラス)	石綿(廃プラ)	石綿(その他)	特管産廃(廃石綿)	その他(廃タイヤ)	その他(廃油)	その他(蛍光管)	その他(廃生コン)	その他(廃電池)	ダンボール	鋳さい
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	(今後実施する予定の取組)	・特に予定していない												

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】													
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	その他のがれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチックくず	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石こうボード	建設汚泥	混合(安定型)	混合(管理型)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	産業廃棄物の種類	その他(伐根、ボサ)	石綿(がれき)	石綿(ガラス)	石綿(廃プラ)	石綿(その他)	特管産廃(廃石綿)	その他(廃タイヤ)	その他(廃油)	その他(蛍光管)	その他(廃生コン)	その他(廃電池)	ダンボール	鉗さい
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	(これまで実施した取組)	・特に実施していない												
②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	その他のがれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチックくず	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石こうボード	建設汚泥	混合(安定型)	混合(管理型)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t			
	産業廃棄物の種類	その他(伐根、ボサ)	石綿(がれき)	石綿(ガラス)	石綿(廃プラ)	石綿(その他)	特管産廃(廃石綿)	その他(廃タイヤ)	その他(廃油)	その他(蛍光管)	その他(廃生コン)	その他(廃電池)	ダンボール	鉗さい
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	(今後実施する予定の取組)	・特に予定していない												

産業廃棄物の処理の委託に関する事項															
①現状	【前年度(令和5年度)実績】														
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	その他のがれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチックくず	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石こうボード	建設汚泥	混合(安定型)	混合(管理型)	
	全処理委託量	1192.86t	98.48	111.148t	24.36t	58.51t	30.51t	57.969t	43.215t	0.00t	18.81t	1.01t	9.94t	49.752	
	優良認定処理業者への処理委託量	97.95t	256.89t	0.00t	0.00t	10.4t	1.13t	0.00t	4.4t	0.00t	0.00t	1.01t	0.00t	0.00t	
	再生利用業者への処理委託量	1192.86t	98.48	111.148t	24.36t	58.51t	30.51t	57.969t	43.215t	0.00t	18.81t	1.01t	9.94t	49.752	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	産業廃棄物の種類	その他(伐根、ボサ)	石綿(がれき)	石綿(ガラス)	石綿(廃プラ)	石綿(その他)	特管産廃(廃石棉)	その他(廃タイヤ)	その他(廃油)	その他(蛍光管)	その他(廃生コン)	その他(廃電池)	ダンボール	鋳さい	
	全処理委託量	0.00t	0.00t	52.86t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.45t	0.00t	0.00t	0.00t	5.16t	0.00t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.01t	
	再生利用業者への処理委託量	0.00t	0.00t	52.86t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.45t	0.00t	0.00t	0.00t	5.16t	0.00t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
	(これまで実施した取組)	・同地区に優良認定処理業者があれば、積極的に利用している													
	②計画	【目標】													
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	その他のがれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチックくず	金属くず	紙くず	木くず	繊維くず	廃石こうボード	建設汚泥	混合(安定型)	混合(管理型)
		全処理委託量	903.00t	50.00t	0.00t	10.00t	10.00t	5.00t	5.00t	5.00t	0.00t	10.00t	1.00t	0.00t	0.00t
		優良認定処理業者への処理委託量	903.00t	50.00t	0.00t	10.00t	10.00t	5.00t	5.00t	5.00t	0.00t	10.00t	1.00t	0.00t	0.00t
		再生利用業者への処理委託量	903.00t	50.00t	0.00t	10.00t	10.00t	5.00t	5.00t	5.00t	0.00t	10.00t	1.00t	0.00t	0.00t
		認定熱回収業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
産業廃棄物の種類		その他(伐根、ボサ)	石綿(がれき)	石綿(ガラス)	石綿(廃プラ)	石綿(その他)	特管産廃(廃石棉)	その他(廃タイヤ)	その他(廃油)	その他(蛍光管)	その他(廃生コン)	その他(廃電池)	ダンボール	鋳さい	
全処理委託量		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
優良認定処理業者への処理委託量		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
再生利用業者への処理委託量		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
認定熱回収業者への処理委託量		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
(これまで実施した取組)		・同地区に優良認定処理業者があれば、積極的に利用したい													